



2学期、スタート!

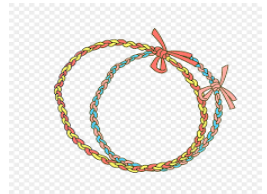


児童たちの元気な声が校舎にもどって来ました。

さて、児童たちの学習や交友面の成長に大きな実りを期待する2学期がスタートしました。それに当たり、学校では、児童たちに自信や主体性を育む教育を2学期も続けて行っていきたいと思っています。そのために、今学期も教職員で気持ちを一つに揃え、チームで、児童達の教育にあたって参ります。何卒、引き続きましての、本校教育へのご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

さて、下に『私はヘアゴム』という素敵な児童詩を紹介します。そして、それを受け、2学期、皆に期待することを述べさせていただきます。

私はヘアゴム 私はかみの毛たちのリーダー いわゆる まとめ役
ブラシと協力しながら 大きなリボンを背負って 大きな頭の上を歩いて
今日も かみの毛たちを まとめるんだ



『安心できる環境をつくる』 ～ 2学期、東豊台小の皆に期待すること ～

2学期は運動会や学年発表会（6年以外）、校外学習など、学校で、学年で、学級で、すなわちチームで取り組む大きな行事があります。そこで皆さんには、大切な心の持ち方として、『その人の心が、環境を決める。』ということばをぜひ知っておいて欲しいと思います。例えば、行事に向かう時には、皆の心を一つにし、努力し達成感を得ることが行事の成功、ひいては個人や集団の成長につながります。しかし、もし他人の話に耳を傾けない人がいたり、大きな声にものを言わせて自分の意見を押し通したり、自分勝手な行動をとったりする人が一人でもいたらどうでしょう。周りの空気が重くなってしまう。これは、明らかに全体にとってマイナスです。だから皆さんには、①一人一人の違いを認める ②他者に優しさのある ③学習・生活にけじめのある そんな空気感を、教室など、いろんな空間に作って欲しいと思います。加えて、④目上の人を尊敬する ⑤正直で誠実さのある ⑥いじめや差別を許さないなどの空気感もとても大切だと思います。

ぜひとも、皆さんには、環境に左右されるのではなく、環境をつくる人でいて欲しいと思います。安岡正篤という先生（先人）が言っています。『環境が人を作ることにとらわれてしまえば、人は単なる物、単なる機械になってしまう。人は環境を作るからにして、そこに人間の人間たる所以がある。自由がある。即ち、主体性、創造性がある。だから人物が偉大であればあるほど、立派な環境を作る。人間ができないと環境に支配される。』と・・・このような思いから、皆さんには、この2学期、「誰もが安心して生活することができる、そんな空気が満ち溢れる、学校、学年、学級、仲間[チーム]⇔【総じて社会】 を作って行って欲しいのです。大人⇔【教師・親】も同じです。皆で共に励み、安心感のある学校を、自分が主人公＝「ヘアゴム」になって、作っていきましょう。

◆お知らせ

この度、4月1日より学校支援担当として、主に、1年生、2クラスに関わっていただいていた、■■■■先生が、教育委員会からの辞令の下、市内、■■■■小学校に9月2日（月）から着任されることになりました。今までありがとうございました。新天地でもご活躍ください。

